

ももたろう基金【第4次助成】 事業実施報告書

実施事業	平成30年7月豪雨災害支援基金		
実施者名	一般社団法人おいでんせえ岡山		
助成金額	500000円		
受益者数	直接受益者 7名	(間接受益者 名)	

※イベント実施や複数回実施事業は別紙で各回の人数等、対象者数のわかる資料を添付ください。

実施した事業の内容・成果

＜実施内容＞

- 社協と真備地区の地域住民と笠岡地区的地域住民と連携して
 真備地区、笠岡地区的在宅避難地域や避難所、仮設や仮設住宅などでのコミュニティ形成(居場所づくり)
 コミュニティ再生のためのサポートを定期的に地域で炊き出し、カフェを実施。
 ・炊き出しありお祭りブースに出展し、岡山の生産者がつくっているオーガニック野菜や農薬不使用のお米をしっかりととっていただき、感染症予防や関連死を予防。
 ・医者と看護師とセラピストで、避難所、仮設住宅、コミュニティを訪れ、被災された方やボランティアスタッフの聞き取りやマッサージを提供。
 ○避難所、施設、炊き出し場所と、サロン・個人宅へ、物資の配達、仕分け作業。

＜実施詳細＞

- ・7/17 岡田小学校の避難所より、「パンやカップ麺ばかりで便秘や口内炎をおこしている」「お野菜が食べたい」との連絡が地域住民を通してある。
- ・7/19 社協主軸の物資仕分け作業に入る(岡山市中区)
- ・7/26 岡田小学校初炊き出し 300 食分。炊き出し班を店舗・生産者と組み、マッチングする。
- ・7/26 セカンドハーベストジャパンの支援先をマッチング。倉庫で仕分け作業をする。
- ・8/6 災害支援ネットワーク北海道と炊き出し 300 食分。
 体育館内の避難者に、炊き出しをしながら積極的な声掛けをしながら配る。教室において、炊き出しを受け取ることのできない、足の悪い高齢者さんに配る。疲労感の溜まっているボランティア活動をしている方々にも配る。
- ・8/11 岡田体育館物資仕分け作業にはいる。ネームタグをいただき、体育館の被災者の方に回りながら声掛けをする。
- ・8/12 二万小学校避難所でお祭り開催。アイス・パイン棒で出店 50 食分。
- ・8/26 岡田小学校炊き出しあり。300 食分
- ・9/27 まきび公園にて、社協主催の 100 人の炊き出し
- ・9/29 まきび荘にて、支援物資配達と、スイーツで女子お茶会 20 食分
- ・10/5 社協まきび公園にて、社協主催の 100 人の炊き出し
- ・10/8 柳井原団地炊き出し 80 人
- ・10/19 まきび公園にて、社協主催の 100 人の炊き出し
- ・10/23 箭田地区にて炊き出しあり 80 人
- ・11/1 吳妹地区尾崎にてサロン再会のための場つくりの炊き出し 50 食分。
- ・11/13 箭田地区にて炊き出しあり 80 人
- ・11/15 下有井公民館にて女子会のスイーツ炊き出し 50 人分

- ・12/14 大高みなみ仮設の高齢者の集いにてスイーツ炊き出し 40 食分
- ・12/16 箭田地区にて物資支援とケア
- ・12/22 柳井原団地忘年会にて100人の炊き出
- ・2/17 まび新春祭り出店(飲食・子供の遊び場・リラクゼーションと運営スタッフ。
- ・2/19 箭田地区にてスイーツ炊き出し、ぜんざい作りとケア 30 人

<成果>

・炊き出しやお祭りブースに出展したり、サロンの再建、みなみ仮設の高齢者の集まりに出展し、岡山の生産者がつくっているオーガニック野菜や農薬不使用のお米をしっかりととていただきたり、スイーツをお持ちしたり、一緒にぜんざいを作って、ほっとする時間をもつていただけた。

再会の場つくりに呼ばれて、喜びの手紙をいただいた。

食を提供することで、笑顔になり、場が緩み、会話が弾み、命のつながりをしみじみと感じた。

・医者と看護師とセラピストで、避難所、仮設住宅、コミュニティを訪れ、聞き取りやマッサージをすることで不安感に寄り添うことができたと思う。

活動の様子（写真などを添付してください）







ありがとうございます。
久しぶりの再会サロン、楽しい時間をみやさんと
過ごすことができてありがとうございました。
社会福祉協議会松風園様を始め
なんば第一春日“おひごんせえ園ふる”のスタッフの方々の
おかげで美しいおうどんおにぎり、そして明るい
笑い声がいやな事、つらい事が飛んで行きました。
時間があとと言う間に過ぎました。
住み慣れない家に1週間と一ヶ月なりに多くの事
が長いになりましたが、今日の再会が次回にも
生きていく事を感じています。
本当に感謝です。
ありがとうございました。
これから寒くなりますがお体ご自愛ください。
追伸、フェイスブック拝見しました。✿

決算報告

(※原則として領収書の写しを添付いただきます。)

今回実施した事業の決算内容は下記の通りです。

収入の部	ももたろう基金助成金	500,000
	収入合計	500,000

費目	算出根拠	金額（円）
①当プログラム助成金 対象費目 当プログラム助成金（このプログラムで集めた寄付金）を充てる費目	炊き出し材料費 (一人分の材料費200円・50人分)	
	フラワーレ 200×50人×2日、200×4人×1日	22,000
	アンソロジー 200円×50人×12日、200円×100人×6日	240,000
	おいでんせえカフェ 200円×50人×12日、200円×250人×2日	218,000
	医療施術料 (一日1000円・スタッフ人数・日数)	
	気楽堂&大賀 1000円×3人×4日	12,000
	非常利活動法人わもん1000円×1人×6日)	6,000
	よもぎ蒸しサロンmimoza 1000円×1人×2日	2,000
		500,000
②その他費目 当プログラム助成金（このプログラムで集めた寄付金）を充てない費目	容器代（炊き出し用）	1,868
	まび新春祭り出店料	1,000
	チヨーク代（炊き出し用）	1,180
	ケア用品アロマオイル	19,070
	小計	23,118
	支出合計	523,118

寄付者へのメッセージ

未だかつて経験したことのない災害が岡山で起きたことで、たくさんの方がパニックに陥り、行く先の見えない中から、このように継続して活動ができた事は、ご寄付いただいた皆様のおかげです。

そのご厚意をうけ、これからも活動は継続し行つていまいりますので、どうぞ見守っていただきたいと思います。あいがとうございます。

今後の活動

信頼関係をつくるために、顔の見える、発言ができる場（コミュニティ）をつくる。

喪失感を長いスパンで見守る。（日常の生活を取り戻すまでのお手伝い。）

元気のある地域活性化。

にぎわう真備。